

意思決定理論

原 和弘 准教授

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

意思決定理論、特に代数構造の入った順序集合に関する研究とその応用

2. 指導方針

学術的に新規性のある研究を修士論文としてまとめることを目標とする。1年目は研究テーマに関連した文献を読み、修士論文で取り組む具体的な問題を決定する。2年目は研究と論文の執筆を行う。

3. 学生に対する要望・その他

学部レベルのミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学、微積分、線形代数についての知識を前提とする。大学院レベルの経済学で必要となる数学および意思決定理論で用いる程度の関数論、測度論を自主的に学習することを求める。